

殿山遺跡 第10地点

遺跡名	殿山遺跡
よみがな	とのやまいせき
調査地点	第10地点
主な時代	縄文時代前期（約5500年前）
調査地	富士見市諏訪2丁目2090-1、2090-17、2090-18
調査面積	393.68㎡
調査期間	平成30年6月19日～6月25日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 縄文時代の竪穴住居跡1軒</p> <p>【出土した主な遺物】 縄文土器、貝塚</p> <p>【概要】</p> <p>殿山遺跡は、富士見江川とその支流である権平川の合流部に位置し、南北に谷が刻まれて舌状の形をした武蔵野台地上に立地しています。</p> <p>これまでの調査により、縄文時代早期後半～中期後半や奈良・平安時代の集落跡、中世では城館跡が確認されている遺跡です。縄文時代前期では貝塚を伴う竪穴住居跡が多数検出され、中世では戦国期の城館を巡る堀跡など区割りを考えるうえで興味深い溝跡が確認されています。</p> <p>今回の調査では、縄文時代前期の竪穴住居跡が1軒確認され、床面に小貝塚がまばらに分布している状況が認められました。貝塚を構成する貝殻はヤマトシジミとカキで大半が占められていました。</p>



縄文時代前期の竪穴住居跡



出土した貝塚と縄文時代前期の土器



ヤマトシジミとカキの貝塚



住居跡で確認された炉跡